

◆2021年受験 演習の「実施内容」のご案内◆

20年6月25日(木)

【ステップ演習】(解答時間:1時間)	【演習名称・科目】	【回数】
<p>〔ステップ演習Ⅰ・ステップ演習Ⅱ・ステップ演習直対〕</p> <p>●財務会計論(計算):演習を通じて論点の網羅的な習熟を目指しましょう! ステップ演習では、短答式試験および論文式試験の突破の鍵となる計算力の向上を図ります。ステップ演習Ⅰで出題範囲を一巡します。短答を受験される方は短答式試験突破を、短答式試験免除の方は論点一巡を目的としてご参加ください。年明けから始まるステップ演習Ⅱは短答式試験および論文式試験の出題範囲の2巡目となります。短答を受験される方は短答式試験突破を、短答式試験免除の方は論点の再回転による計算力強化を目的としてご参加ください。ステップ演習直対では理論的要素を織り交ぜながら論文式試験の完全突破を狙います。</p>	<p>◆ステップ演習Ⅰ 財務会計論(計算) 管理会計論 租税法</p>	<p>16回 14回 3回</p>
<p>●管理会計論:量・難易度とも多様な問題の演習 年内に行われるステップ演習Ⅰにおいては、短答式試験を視野に入れて基礎的な計算力の構築を図ります。また、ステップ演習Ⅱ・直対は年明け以降開講し、短答式試験及び論文式試験を見据えた揺るぎない計算力の構築を目指します。管理会計論の計算力構築のために必須の演習となっております。</p>	<p>◆ステップ演習Ⅱ 財務会計論(計算) 管理会計論 租税法</p>	<p>14回 10回 3回</p>
<p>●租税法:計算問題中心の総合問題演習 法人税の総合問題演習を中心に、所得税、消費税についても、基礎から本試験を意識したレベルの問題まで、出題範囲を網羅した演習を行い、計算力の確実なアップを図ります。</p>	<p>◆ステップ演習直対 財務会計論(計算) 管理会計論 租税法</p>	<p>4回 4回 8回</p>

【短答実力養成演習】(解答時間:50分) ※自己採点	【演習名称・科目】	【回数】
<p>●財務会計論(理論):財務会計論(理論)の全範囲を6回に分け、確実に得点すべきAランク問題を中心に実施される短答対策の演習です。3時間の枠の中で、短答実力養成演習を通じて、基礎知識の再確認を行い、明らかになった弱点分野は短答直対演習までに克服しておきましょう。もちろん、解説を聞くことで、弱点の補強も期待できます。</p>	<p>◆財務会計論</p>	<p>6回</p>
<p>●監査論:監査論の基礎知識を確認するために25問の短答形式の問題を解いていただき、解説講義、および周辺知識の整理を行います。そのことによって、自己の弱点、苦手分野を正確に把握することができます。苦手分野の把握により効果的かつ効率的に学習を進めていただけます。</p>	<p>◆監査論</p>	<p>6回</p>
<p>●企業法:企業法の基礎知識を確認するため、Aランクの問題を本試験とほぼ同形式の短答式問題で25問解いていただけます。解説講義では周辺知識も整理しますので、自己の弱点、苦手分野を正確に把握することができます。苦手分野の把握により効果的かつ効率的に学習を進めていただけます。</p>	<p>◆企業法</p>	<p>6回</p>

【経験者向け短答実力養成演習】(解答時間:50分×2) ※自己採点	【演習名称・科目】 短答実力養成演習と同一教材です。	【回数】
<p>●財務会計論(理論):短答論点の基礎知識を再確認しよう! 財務会計論(理論)の全範囲を6回に分け、Aランク(確実に得点すべき)問題を中心に実施される短答対策の演習です。3時間の枠の中で、毎回2回分ずつ実施します。経験者向け短答実力養成演習を通じて、基礎知識の再確認を行い、明らかになった弱点分野は短答直対演習までに克服しておきましょう。もちろん、解説を聞くことで、弱点の補強も期待できます。</p>	<p>◆財務会計論</p>	<p>3回</p>
<p>●監査論:短答論点の基礎知識を再確認しよう! 監査論の全範囲を6回に分け、Aランク(確実に得点すべき)問題を中心に実施される短答対策の演習です。3時間の枠の中で、毎回2回分ずつ実施します。経験者向け短答実力養成演習を通じて、基礎知識の再確認を行い、明らかになった弱点分野は短答直対演習までに克服しておきましょう。もちろん、解説を聞くことで、弱点の補強も期待できます。</p>	<p>◆監査論</p>	<p>3回</p>
<p>●企業法:短答論点の基礎知識を再確認しよう! 企業法の全範囲を6回に分け、Aランク(確実に得点すべき)問題を中心に実施される短答対策の演習です。3時間の枠の中で、毎回2回分ずつ実施します。経験者向け短答実力養成演習を通じて、基礎知識の再確認を行い、明らかになった弱点分野は短答直対演習までに克服しておきましょう。もちろん、解説を聞くことで、弱点の補強も期待できます。</p>	<p>◆企業法</p>	<p>3回</p>

◆2021年受験 演習の「実施内容」のご案内◆

20年6月25日(木)

【短答直対演習】(解答時間:1時間) ※財務会計論のみ2時間となります。	【演習名称・科目】	【回数】
<p>●財務会計論:本試験レベルの演習 財務会計論は、計算と理論からそれぞれ出題がなされます。本講座では、2時間(120分)を計算と理論でどのように配分するかなど、実践的な問題演習を通じて習得していただけます。演習実施後には、約1時間の解説を予定しています。</p> <p>●管理会計論:本試験レベルの演習 限られた制限時間の中でいかに効率的に点数を積み上げていくかを習得していただき、選択肢の正確な判断力を養成していきます。また、演習解説では、短答式試験特有の正誤判定ポイントの指摘や、より短時間で正答するためのノウハウをお伝えします。</p> <p>●監査論:本試験レベルの演習 一定の時間内でバランスよく解くことに慣れるとともに、選択肢の正確な判断力を養成していただけます。また、演習解説では、短答式試験特有の正誤判定ポイントの指摘や、より短時間で正答するためのノウハウをお伝えします。</p> <p>●企業法:本試験レベルの演習 本試験と同レベル、同形式の短答式演習です。企業法の全範囲につき、毎回範囲を指定し実施します。演習の直後には、解説講義があり、復習も効率的に行えます。この演習で試験範囲の全内容を把握してください。</p>	◆財務会計論	4回
	◆管理会計論	4回
	◆監査論	4回
	◆企業法	4回

【論文基礎演習】(解答時間:2時間) ※会計学Ⅱのみ3時間となります。	【演習名称・科目】	【回数】
<p>●会計学[財務会計論・管理会計論]:基礎レベルの演習 財務会計論、管理会計論を会計学ⅠとⅡに分けて実施します。基本的かつ典型的論点を中心としながら、応用問題を若干組み合わせ出題します。基礎論点の確認と答案作成上不可欠な時間配分の要領を習得するために最適の演習です。</p> <p>●監査論:基礎論点についての演習 合格に向かって足固めとなるような基本論点を充実させることをねらいとしています。本試験で出題された場合“ミスをする”と他の受験生に差をつけられる”ような基本的問題を中心に若干応用的な切り口の問題を、出題範囲を指定して実施します。</p> <p>●企業法:基本論点についての演習 2時間という時間制限の中で、2問の答案を確実に書き上げる能力を身に付けるための演習です。基本論点および、若干の応用的要素を含んだ論点を出題します。出題範囲を予め指定しますので、その範囲につき、準備をしたうえで演習に臨んでください。演習終了後には、論点や答案の書き方について解説します。</p> <p>●租税法:基礎論点についての演習 理論を含む法人税・所得税・消費税の基礎論点を中心に2時間の中でバランスよく解答する力を養成します。</p> <p>●経営学:論述力・問題解析力を高める 答案作成を通じて、知識のインプットとアウトプットの橋渡しをすることをねらいとしています。演習は、知識のインプットの度合いを確認できるような問題と、応用力を試す問題を組み合わせ、出題範囲を指定して実施します。このような問題を通じて、知識を答案に反映する練習をします。</p> <p>●経済学:基礎論点をマスター！ 基礎知識の確認と、典型的計算問題の解法マニュアルを習得することが目的です。毎回論点範囲を指定して出題していきますので、復習のペースメーカーとしても最適です。</p> <p>●民法:基礎論点についての演習 2時間という時間制限の中で、2問の答案を確実に書き上げる能力を身に付けるための演習です。基本論点および、若干の応用的要素を含んだ論点を出題します。出題範囲を予め発表しますので、その範囲につき、準備をしたうえで演習に臨んでください。演習終了後には、論点や答案の書き方について解説します。</p> <p>●統計学:基礎論点を完全網羅！ 頻出分野の重要論点を理解できているかどうか、基本問題を解くことで確認していただけます。ここで紹介する内容が習得できていれば、本試験でも合格点が取れるはず。</p>	◆会計学 (会計学Ⅰ:管理会計論 会計学Ⅱ:財務会計論)	8回 (会計学Ⅰ・Ⅱ各4回)
	◆監査論	4回
	◆企業法	4回
	◆租税法	4回
	◆経営学	4回
	◆経済学	4回
	◆民法	4回
	◆統計学	4回

◆2021年受験 演習の「実施内容」のご案内◆

20年6月25日(木)

【論文応用演習】(解答時間:2時間) ※会計学Ⅱのみ3時間となります。

- 会計学[財務会計論・管理会計論]:本試験レベルの演習 財務会計論, 管理会計論を会計学ⅠとⅡに分けて実施します。少々難易度の高い問題や切り口の異なった多彩な問題を出題していきます。また, 試験委員固有の論点やトピック的な論点も出題項目に交え, 本試験突破に必要なすべての論点を網羅します。
- 監査論:応用論点についての演習 “優れた答案には何があり, ダメな答案は何が足りないのか”を明確にし, 実力を高レベルに誘導することをねらいとします。監査基準委員会報告書等の重要論点や応用的・実践的な問題を中心に“差がつきやすい”問題を厳選し, 出題者の意図を読み取り適切な解答を書く訓練を実施します。
- 企業法:本試験レベルの論文式演習 応用論点や企業法に横断的に係わってくる制度について, 論文作成能力を養成することをねらいとします。企業法のすべての分野に亘って網羅的に出題しますが, 出題範囲を指定して実施します。解説は, 問題文へのアプローチ方法や答案作成方法に焦点を絞って行います。
- 租税法:本試験レベルの演習 本試験を意識したレベルの法人税・所得税・消費税の各論点を組み合わせた問題で, 本試験に向けた応用力を養成します。
- 経営学:論述力・問題解析力を高める 応用問題の答案作成を通じて, 個々の知識を体系的に整理することをねらいとします。答案は, インプットした知識を材料にし, それらを加工しながら答案を作成しなければならないような問題を厳選し, 出題範囲を指定して実施します。
- 経済学:基礎演習の継続的補完! 最近の傾向に合わせ, 基礎演習で出し切れていない残りの標準・典型問題の中から, 多少応用力を要するものも含めて穴の無いように網羅していきます。
- 民法:重要論点・応用論点についての演習 実践的な答案作成能力の養成をねらいとします。重要論点を中心に本試験と同レベル, 同形式の問題を出題範囲を指定して実施します。また, 本試験を意識して応用力が要求される問題も出題します。解説は, 問題文へのアプローチ方法や答案作成方法に焦点を絞って行います。
- 統計学:応用問題にチャレンジ! 論文基礎演習で扱った内容が本当に理解できているのか, 応用問題を解くことで確認していただけます。見慣れない分野の問題も解くことで, 重要論点の理解に磨きをかけます。

【演習名称・科目】

【回数】

◆会計学 (会計学Ⅰ:管理会計論 会計学Ⅱ:財務会計論)	8回 (会計学Ⅰ・Ⅱ各4回)
◆監査論	4回
◆企業法	4回
◆租税法	4回
◆経営学	4回
◆経済学	4回
◆民法	4回
◆統計学	4回

【論文直対演習】(解答時間:2時間) ※会計学Ⅱのみ3時間となります。

- 会計学[財務会計論・管理会計論]:出題予想に基づく演習 財務会計論, 管理会計論を会計学ⅠとⅡに分けて実施します。試験委員の直近の情報を分析して, 出題可能性の高い論点を中心に本試験予想問題として出題していきます。論文対策における総仕上げとして活用してください。
- 監査論:本試験レベルの総合問題演習 “これなら合格できる”と自信をもてるように実践力を充実させることをねらいとします。出題可能性が高い論点を中心に, 過去の本試験と同レベルの難易度とボリュームで実施します。“時間との戦い方”を含めて本番で十分実力を出し切るテクニックをお伝えします。
- 企業法:出題予想に基づく演習 本試験で出題される可能性の高い論点を中心に, 最後の総仕上げをねらいとします。出題範囲を指定して実施します。
- 租税法:出題予想に基づく総合実践演習 本試験で出題が予想される問題を解くことにより, 最後の総仕上げを行います。これにより本試験に向けて万全の状態に臨むことができます。
- 経営学:重要論点の完全攻略 本試験を想定した問題を解くことにより, 万全の状態に本番に臨めるようになることをねらいとします。演習は, 試験委員の最新の研究動向をふまえ, 出題可能性が特に高い論点を抽出し, 出題します。この問題を解くことにより, 受験対策の総仕上げをします。
- 経済学:ここが出る! 予想的中問題 抜群の問題的中率で, 毎年ヤマ当てには絶大の信頼をいただいている大原経済学スタッフが「ズバリこれが出る!」と自信をもってお贈りする超A級の問題です。これで本試験への備えは万全です。
- 民法:出題予想問題についての演習 答案作成力の総仕上げをねらいとします。試験委員の関心の高いテーマの中から, 復習の効率にも配慮して, 本試験で出題が予想される論点を事例形式で出題します。
- 統計学:重要論点の最終チェック! 重要論点の理解に死角はないか, 本試験レベルの問題を解くことで確認していただけます。必要な知識が習得できているか, 最後の実力試しの場です。

【演習名称・科目】

【回数】

◆会計学 (会計学Ⅰ:管理会計論 会計学Ⅱ:財務会計論)	8回 (会計学Ⅰ・Ⅱ各4回)
◆監査論	4回
◆企業法	4回
◆租税法	4回
◆経営学	4回
◆経済学	4回
◆民法	4回
◆統計学	4回